

平成28年度 事業概要

事業名称	概要				評価・所見等
	日程	会場	延人数	内容、テーマ、講師等	
1. 情報の収集・提供に関する事業					
ボランティア・市民公益活動紹介冊子「ガイドブック」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民公益活動をしている団体の情報（平成28年7月現在124団体）をまとめた冊子（600部）及び一覧表A4版（計3000部）を発行し、団体、福祉施設、学校等に配布及びるーぶらざ・キックス等で閲覧し活用した。			ボランティア・市民活動を始めたい人に最新情報を提供することで、活動を始めるにあたって良い情報源となっている。また、企業ボランティアの紹介、ボランティアに関する情報を掲載した。
支援センター情報紙「るーぶらざだより」（ボランティア通信）の発行	年4回	支援センター情報紙、春号（33号）夏号（34号）秋号（35号）冬号（36号）の4回発行（各号カラー版1,500部、36号は5,000部）、「ガイドブック」掲載団体・推進委員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布した。			支援センターの行事・施設活用紹介・団体活動記事など色々な情報が掲載できた。冬号はボラフェス特集とし、当日パンフとしても利用してもらえた。
防災情報紙の発行	年1回	ボランティア・市民公益活動団体関係及び市民の防災や災害時の取組みに関する情報紙として、第3号を発行した。			「親子で防災体験」を掲載、子どもたちに知識だけでなく震災時に適切な判断と行動力を学ぶ内容とした。
他市施設の調査・研究	11月29日	大阪市&東住吉区ボランティア・市民活動センター	15	大阪市&東住吉区ボランティア・市民活動センターを見学し、施設及び事業内容の説明を受けた。	入口にボランティア活動についての各募集がミニサイズで配架しており、関心のある人が手に取って持ち帰りやすいようにするなど、レイアウト面でとても参考になった。
ホームページの管理運営	通年	センターの管理運営状況の更新、センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ等を掲載した。			Facebookだけでなく今年度よりTwitterを追加し、若い世代にも情報発信できるようにした。
その他	通年	キックス1階情報コーナー・市役所・フォレスト三日月市・公民館等に団体活動をPRするチラシ等配架、及び、来場者に団体活動情報を提供した。			様々な場所で団体活動の情報の提供及び収集ができた。
2. 学習機会の提供に関する事業					
ボランティア活動入門講座	6月11日 6月18日	キックス	33 64	2日に分けて開催。テーマ：ボランティアの楽しみ方 1日目は講演及びワークショップ 講師：大阪ボランティア協会 鈴木美穂氏、2日目は市内の団体活動紹介と体験参加相談会。なお、今年度はくろまる塾と河内長野市社会福祉協議会との協働事業とした。	ボランティアの魅力を理解していただく講座とボランティア団体と受講者が直接対話していただく内容で、ボランティアを知ってもらう機会となった。また、今後くろまる塾と社協と連携していきたい。
ボランティア活動体験プログラム	7月21日～ 9月29日	キックス・ボランティアセンター・その他	510	対象：市民 目的：各ボランティア団体の活動状況を実際に体験し、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数：27、参加団体数：20団体	今年度より河内長野市社会福祉協議会と連携し、協働事業として実施した。子ども向けのプログラムは参加者が多かった。また、団体の活動を多くの人に知ってもらうことができた。
グループ運営講座	10月7日	るーぶらざ	25	テーマ：「知らないと損をする広報の基礎知識」 講師：吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」副センター長 春貴勇力氏	グループワークをすることにより、より実践的な知識を学ぶ場となった。これからの広報活動に活かしていきたいなど前向きな感想を多くもらった。
3. 交流促進に関する事業					
市民まつりへの参加	5月15日	赤峰市民広場	センターテント来観者 約700	市内のボランティア活動紹介・ボランティア活動体験プログラム紹介、スーパーボールすくい・風船膨らまし・鉛入りかぶと折り紙などのワーク、掲載団体活動一覧表「ガイドブック」・「るーぶらざだより」・「イベント情報」などを展示	「るーぶらざ」の情報提供資料、団体紹介ポスター等を展示、団体のワークショップ実施、また、啓発用風船を来場者自身に作ってもらうなど子どもから大人まで喜んでもらえ、にぎやかな交流になった。
市内団体交流会	11月21日	るーぶらざ	40	1部「るーぶらざまつり」ではるーぶらざを知ってもらおう！と一般市民等を対象に、2部「団体交流会」では団体同士の交流での団体カレッジを目的で開催	市民の方に「るーぶらざ」の見学により、るーぶらざの事業や行事内容を知ってもらえた。また、団体同士の交流ができた。
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月26日	キックス・河内長野ガス及びるーぶらざ	6,000 参加団体：73	目的：参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。テーマ：「伝えたい 私の思い 君の声」、内容：市内のボランティア団体の活動紹介、特別企画「震災で消えた小さな命展」、展示・ワーク・フリーマーケット・ステージ、絵画コンクール展を行った。また「キックス」「るーぶらざ」「長野ガス」の3会場で開催した。	今年度は「長野ガス」を会場とし3会場で開催した。参加者も年々増加し、また、参加団体による検討会を行うなどで多彩な催しが多かった。小中学生の絵画コンクール展の応募は82名と多かった。ボラフェス開催により、市民の方とボランティア団体の交流やボランティアに関する啓発ができた。
4. 相談・コーディネートに関する事業					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	通年	るーぶらざ	件数：196	ボランティアをしようとする来場者に、相談や団体活動情報を提供できた。また、福祉施設などとボランティア団体のマッチングも行った。	昨年より、「ボランティアをしたい、探している」の相談、施設とのマッチング相談も増え、全体では約2倍に増加した。
ステップアップ講座	1月19日	るーぶらざ	10	書いて伝える要約筆記入門講座：要約筆記とは、その方法について簡単な紹介・筆記体験、講師：要約筆記サークル「葉月」	要約筆記は、聞こえない・聞こえにくい人に文字で情報を伝える「通訳」で興味深い講座であった。今後の活用が期待される。
ボランティアサポーター養成講座	3月23日	キックス	36	テーマ：つながりつむいで～地域に繋がり広がりを生み出すヒント～ 講師：中央区フィランソロピー懇談会（CFK）代表 石黒修氏	「地域に貢献したいけれど、どうしたらよいかわからない」という方への講座で、地域貢献活動を紹介して頂き、社会貢献の実態を学びまた考える機会となった。また、河内長野市商工会の後援を受けた。
相談・コーディネート機能	7月9日	エル・おおさか	1	ボランティアコーディネーターの役割、目的。中間支援組織について学ぶ。	中間支援組織におけるボランティアコーディネーションの基本的な考え方や業務の流れについて学べた。
	10月19日	市民活動スクエア	1	企業の社会的責任（CSR）・社会貢献基礎について学ぶ。	攻めのCSR展開 社員のボランティア活動推進の取り組み方について、事例を通じて理解を深めた。
	1月17日	松原市市民活動サポートサロン	市内4	テーマ：支援センターのあり方意見交換会～新しい取り組みと日々の運営の中での気づき～ 9市より26人参加	参加された9市のセンターだけでなく、市職員・社協との意見交換ができ、とても参考になった。
5. 支援センター管理運営及び事務局の事業					
支援センター管理運営	通年	支援センターの管理運営（各事業・行事）、るーぶらざ設備の提供など			大きな問題もなく遂行できた。また、内容も向上した。
市民公益活動支援補助金サポート講座	3月2日	るーぶらざ	15	知って得する！「補助金」・「助成金」獲得のコツ 講師：吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」センター長 柳瀬真佐子氏	申請する上で押さえておきたい「企画書を書くポイント」や「予算書の書き方」について等を実践的に学べた。
市民公益活動支援補助金プレゼンテーション講座	3月16日	るーぶらざ	12	市民公益活動支援補助金制度活用プレゼンテーション講座 講師：認定NPO法人大阪NPOセンター事務局 堀野亘求氏	プレゼンテーションを決められた時間内にいかに有効的に伝えるか。グループに分かれワークをし、言葉だけで人に伝える難しさを学び、本番のプレゼンに役立ててもらったことができた。
ステップアップセミナー	3月29日	るーぶらざ	25	テーマ：NPO・ボランティア団体の会計と特定非営利活動促進法改正の概要について 講師：①NPO法人事務局中村孝夫氏、②自治協働課芝氏	NPO法人の会計の基礎的な知識を実例・演習等で解説していただいた。また、特定非営利活動促進法改正の概要について説明を受けた。
大学生のインターンシップ受入事業	8月24日～ 26日、 29、31日	るーぶらざ	大学生6	都市魅力戦略課インターンシップ受入事業の一環として受入、当センターの実習、ボラフェス・ボランティア活動体験プログラムについて資料作成等を行った。	参加学生に「るーぶらざ」の業務内容を知ってもらった。その中で、ボランティアとは？を考えてもらい、ボランティアに関心を持ってもらう事ができた。
熊本地震災害義援金募金活動	5月16日 2回	河内長野駅前近	AM39 PM41	ガイドブック掲載団体に呼び掛け募金活動を実施した。また、「るーぶらざ」でも継続して実施中。	集まった募金は、全額日本赤十字社「日赤平成28年熊本地震災害義援金」へ振込み。
イベント情報の発行	年8回	適宜月初めに発行。タイムリーな記事を掲載。			イベント情報は必要に応じて発行することとした。
かわら版に掲載	年6回	市商店連合会発行、「わが街ボランティア・市民公益活動だより」に掲載			年6回、定期的に掲載できた。
スタッフ研修	通年	るーぶらざ等	延べ11回 延べ参加65	人権研修、視覚障がい者研修、車椅子体験研修等	多彩な研修ができた。また、スタッフの知識の向上ができた。
まちづくり出前講座	10月27日	るーぶらざ	11	テーマ：脳げんき度測定&認知症サポーター養成講座	認知症サポーターになるための正しい知識を学べた。
南河内のつどい	11月19日	大阪大谷大学	60	各地区の団体活動紹介及び講演等開催	コミュニティビジネスとは何かを考える場となった。
救急救命講座	10月14日	るーぶらざ	15	内容：救命入門コース・河内長野市消防本部より2名、	主に心肺蘇生とAEDの講習
自衛消防訓練	3月1日	るーぶらざ	8	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
その他	その都度	＝	＝	支援センターの管理運営や行事内容の紹介・展示・他自治体等の視察・研修受け入れ、市内情報紙等への情報提供な	

相談等件数と分析

1. 相談項目と件数（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

No	分類	相談等の内容	件数
1	ボランティア活動をしたい	退職者・学生がボランティアをしたい。なんとなくボランティアをしたい。	30
2	マッチング	ダンス・舞踊・福祉施設でボランティアしたい。	16
3	「ガイドブック」掲載に関する事	「ガイドブック」の掲載方法、内容、書き方、手続きなど	11
4	支援補助金、協働事業に関する事	制度の内容、申請方法、制度の運営・活動について	9
5	団体運営・行事企画、団体立ち上げなど	団体の方向性・悩みごと、情報提供、支援協力要請（行事・講座、チラシ作成）、会員募集依頼、ボランティア要請など	7
6	NPO活動、NPO立ち上げに関する事	NPO準備・立上りたい、申請方法、会計処理、NPO情報・取り組み方・支援（融資）	4
7	当センターの使用・利用に関する事	センターは何ををするところ、るーぷの集い参加、自治会のセンター利用、ラミネート利用など	2
8	助成金	団体設立、運営資金の情報提供	1
9	ボランティア保険に関する事	市の市民公益活動補償制度などについての相談など	1
10	その他	手続きの方法、報告書の書き方など	115
計			196

2. 所見

受付簿に相談内容を記載し、また、相談・コーディネート部会等での相談内容の説明をするなどにより、情報交換ができた。

昨年度（85件）より、相談件数が約2倍に増加した。

例年あった自治会・老人会・子ども会活動に関する事、地域まちづくり協議会、まちづくり関係、大学連携・支援関係に関する事等の相談が無かった。

管理施設の利用状況(平成28年4月～平成29年3月)

<利用人数>

(単位:人)

	ミーティング &交流	ワーク	情報	スペース 利用小計	相談対応	施設見学・案内・ 情報交換・ その他利用者	総数
4月	294	223	15	532	41	323	896
5月	329	184	16	529	45	356	930
6月	384	138	10	532	20	348	900
7月	202	149	12	363	16	379	758
8月	185	146	28	359	11	330	700
9月	313	177	12	502	4	354	860
10月	410	174	24	608	10	373	991
11月	282	149	15	446	5	332	783
12月	219	105	10	334	3	286	623
1月	286	127	13	426	8	317	751
2月	308	127	11	446	11	2,471	2,928
3月	359	210	11	580	22	339	941
計	3,571	1,909	177	5,657	196	6,208	12,061

(注) *スペース利用小計＝ミーティング&交流スペース＋ワークスペース＋情報スペース利用者

*総数＝スペース利用小計＋相談対応＋施設見学・案内・情報交換・その他利用者数

<参考>

平成26年度	4,316	1,403	476	6,195	128	3094	9,417
平成27年度	3,968	1,887	212	6,067	105	4893	11,065

市民公益活動支援センターの利用について 利用者アンケート 結果

調査機関 平成29年2月1日～3月15日

まとめ:平成29年3月25日

回収枚数 65 枚

基本属性

性別	1.男性	35
	2.女性	30

年齢	1.～20代	0
	2.30～50代	11
	3.60代	23
	4.70代以上	31
	5.未記入	0

住所	1.市内	63
	2.市外	1
	3.未記入	1

用件 (複数可)	1.会議	26
	2.相談等	8
	3.印刷等	46
	4.紙折り機等	9
	5.情報収集	5
	6.貸ロッカー他	3
	7.その他	0
	8.未記入	3

管理・運営について

開館日時	1.良い	50
	2.普通	15
	3.要改善	0
	4.未記入	0

内容	1.良い	49
	2.普通	15
	3.要改善	0
	4.未記入	1

清潔さ	1.良い	51
	2.普通	12
	3.要改善	0
	4.未記入	2

充実度	1.良い	39
	2.普通	21
	3.要改善	3
	4.未記入	2

スタッフ	1.良い	58
	2.普通	5
	3.要改善	0
	4.未記入	2

利用スペースについて

ミーティング 交流	1.良い	31
	2.普通	14
	3.要改善	0
	4.未記入	20

ワーク	1.良い	42
	2.普通	15
	3.要改善	1
	4.未記入	7

情報	1.良い	23
	2.普通	23
	3.要改善	0
	4.未記入	19

貸ロッカ 貸ブース	1.良い	18
	2.普通	16
	3.要改善	0
	4.未記入	31

その他	1.良い	3
	2.普通	5
	3.要改善	0
	4.未記入	57

自由意見

- 1 何時も安く、短時間で出来て感謝してます。
- 2 いつも気持ちよく対応されています。
- 3 いつもまちづくり協議会の活動で利用させてもらって重宝しています。
- 4 災害時等が起こるとボランティアが当然の事ながら盛り上がり非常に頼もしく、日本人の底力を見るようでとても嬉しい。特に若い力には頭が下がる思いである。日頃でも何か人の役に立ちたい、余った少しの時間でも人が喜んでくれると気持ちがいい、そんな人々(若い人も含め)のボランティアの気持ちをほんの少しでも生かしていけるような拠点になればと、いつも考えています。私たちが協力していきたいです。
- 5 会議でよく使わせていただいています。大変使い心地もよく、無料でよろこんでいます。ありがとうございます。
- 6 いつも有効に利用させてもらっています。
- 7 よく利用させてもらっています。スタッフの皆様のサービスも人が代わられても親切に対応いただいています。
- 8 スタッフの方たちがいつも親切に教えてくださり、ありがたいです。
- 9 このような施設があり、大変助かっている。
- 10 受付の対応はいつも良かったです。
- 11 大変助かっております。
- 12 いつもお世話になっております。るーぷらざの存在はとてもありがたいです。
- 13 会議等にて利用させていただき、助かります。
- 14 るーぷらざを利用する人たちのため、色々工夫して下さっているのが、よくわかります。ありがとうございます。
- 15 遅い時刻まで使えて助かります。